

平成 22 年 6 月期

横浜市感染症発生動向調査委員会報告

平成 22 年 6 月 24 日
横浜市健康福祉局健康安全課
TEL045(671)2463
横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課
TEL045(754)9816

《今月のトピックス》

- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が高めです。
- 水痘と流行性耳下腺炎は、過去5年間に比べて高めに推移しています。
- 伝染性紅斑が高めです。
- ヘルパンギーナが高めです。

平成 22 年 5 月 24 日から 6 月 20 日まで(平成 22 年第 21 週から第 24 週まで。ただし、性感染症については平成 22 年 5 月分)の横浜市感染症発生動向評価を、標記委員会において行いましたのでお知らせします。

平成 22 年 週一月日対照表

第 21 週	5 月 24～30 日
第 22 週	5 月 31 日～6 月 6 日
第 23 週	6 月 7～ 13 日
第 24 週	6 月 14～20 日

全数把握の対象

- 1 腸管出血性大腸菌感染症: O26 の、2 例の報告がありました。きょうだい例で、自宅での肉の加熱不十分が疑われます。肉類を喫食する際は、十分な加熱を心がけましょう。発生時の対応につきましてはこちらをご参考ください。
横浜市衛生研究所HPhttp://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/rinji/infc_o157_guide.html
- 2 デング熱: インドネシアからの帰国者に 1 例見られました。同行者の感染は認められていません。
- 3 麻疹: 2010 年 6 月は 3 例の報告がありました。ワクチン接種歴があったのは 1 例だけでした。すべて孤発例であり、周囲への感染は認められていません。

《日本は、2008 年～2012 年の 5 年間で、麻疹排除を目指します》

- ① 風しんとともに全数報告疾患として、発生状況等を詳細に把握
- ② 1 歳および就学前 1 年間の、麻疹風しん混合ワクチンによる 2 回接種の徹底
- ③ 5 年間に限り、中 1 及び高 3 相当の年齢の者への定期接種を実施

国立感染症研究所HP <http://idsc.nih.gov/jp/disease/measles/index.html>より

- 4 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: 2 例の報告がありました。A 群と、G 群でした。今年に入って 5 例目の報告です。昨年の報告は 1 例 のみでした。当疾患は、約 30% が死亡している極めて致死性の高い疾患です。詳しくはこちらをご参考下さい。 国立感染症研究所HPhttp://idsc.nih.gov/jp/idwr/kansen/k02_g2/k02_46/k02_46.html
- 5 破傷風: 1 例の報告が見られました。66 歳の方です。転倒による外傷が原因と見られています。全国では年間 100 人程度報告され、5 月から 10 月といった野外活動が多くなる時期に増加しています。全国で 2008 年に行われた破傷風毒素抗体の保有状況では、60 歳代以上では保有率 11% と極めて低く、5 年後の次の調査結果が待たれる状況です。

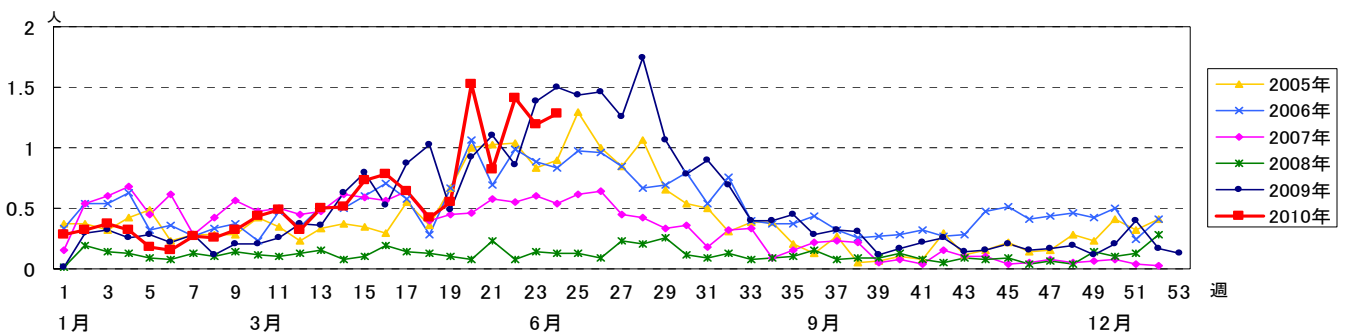
臨床症状や所見から破傷風と診断した場合は 7 日以内の届出が必要です。破傷風につきましては、こちらをご参考下さい。

横浜市衛生研究所HP <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/idsc/disease/tetanus1.html>

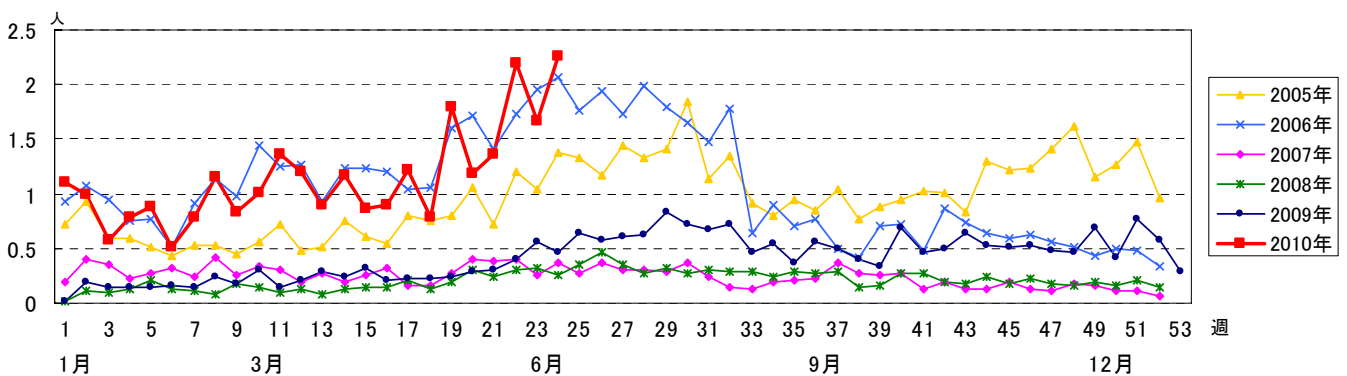
国立感染症研究所HP <http://idsc.nih.gov/jp/iasr/30/349/tpc349-j.html>

定点把握の対象

- 1 **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:**第24週は定点あたり2.94でした。この時期では2008年について高く報告されています。行政区別では、瀬谷区が16.00、港北区が9.13、都筑区7.00と高めです。全国では1.75、神奈川県域(横浜、川崎、相模原を除く。以下県域)1.69、川崎市2.67、東京都1.85です。
- 2 **水痘:**第24週は定点あたり2.26です。行政区別では、瀬谷区が7.00、緑区が5.80と高めです。全国では2.21、県域は(横浜、川崎、相模原を除く)2.46、川崎市1.64、東京都1.86です。
- 3 **伝染性紅斑:**第24週は定点あたり1.29です。過去5年間の中でも高めです。行政区別では、瀬谷区が7.33、泉区6.00、南区2.80、戸塚区2.50と高めです。全国では0.64、県域2.18、川崎市0.36、東京都0.61です。



- 4 **ヘルパンギーナ:**第24週は定点あたり2.60です。行政区別では磯子区8.25が高めです。全国では1.56、県域2.31、川崎市2.64、東京都1.90です。
- 5 **流行性耳下腺炎:**第24週は定点あたり2.25です。行政区別では、神奈川区6.00、泉区5.00、緑区4.60、旭区3.80、瀬谷区3.00が高めです。全国では1.51、県域は2.01、川崎市0.82、東京都1.18です。過去5年でも高めです。



- 6 **性感染症:**性感染症は、産婦人科系の11定点、および泌尿器科・皮膚科系の15定点からの報告に基づき、1か月単位で集計されています。5月は、4月に比べて全体としては横ばいです。性器クラミジアは男性12例、女性13例の報告がありました。性器ヘルペス感染症は、男性4例、女性17例です。尖圭コンジローマが男性9例、女性1例です。淋菌感染症は男性12例女性2例です。

この感染症発生動向調査委員会報告とデータの詳細については、下記のホームページに掲載されていますので、他の記事と合わせてご覧ください。

横浜市衛生研究所ホームページアドレス URL:<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/>